

# 議会だより

165号

## CONTENTS 12月定例会

▶P2 トピックス

- ・新年あいさつ
- ・物価高騰対策支援事業

POINT

▶P3 トピックス

- ・高浜公園ソラノワの設置及び管理に関する条例
- ・医師公舎電気設備等取替修繕

▶P10 ここが聞きたい！一般質問に7名が登壇

※ 一般質問通告書をQRコードで公開

▶P15 地区シリーズ（青郷地区）

▶P16 3月定例会日程予定

※ 注目している事業をP5QRコードで公開

POINT



高浜消防団出初式



議会だより  
アーカイブはこちら



議会だより  
表紙応募はこちら

## 新年のごあいさつ

議長 <sup>いそ べ たけ し</sup> 磯部 武史



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日頃より高浜町議会の活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、高浜町議会では、将来を見据えた議会改革の一環として、議員定数を2名削減することを決定しました。人口減少社会を踏まえ、より簡素で効率的、かつ責任ある議会運営を目指すものであり、町民の皆さまからの信頼に応えるための重要な取り組みであります。本年は、この決定の重みを改めて受け止め、議会の役割と責任を一層自覚しながら、町民の声を丁寧に町政へ反映させてまいります。福祉の充実、子育て支援、防災・減災対策、原子力・産業・観光の振興など、山積する課題に対し、議論を尽くし、町政のチェック機関としての責務を果たしてまいります。

結びに、本年が町民の皆さまにとって明るく希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも高浜町議会への変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶といたします。

## 新年のごあいさつ

副議長 <sup>ひろ せ こ</sup> 廣瀬 とし子



あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は高浜町制施行70周年記念式典が盛大に開催されました。また、新しい町長、副町長を迎え新体制が始まり、議会の常任委員会には町長が出席され、答弁も行われています。

さて、昨年は熊の被害、東北での地震が発生しました。

被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。災害はいつくるかわからないため常に訓練が必要と実感しました。

人口減少が進む中への取り組みが一層求められています。私も議会は、町民の皆さまの声を大切に、安心して暮らし続けられるまちづくりと、次世代へつなげる地域づくりに全力で取り組んでまいります。

本年が皆さまにとって希望と安心に満ちた1年となりますように、新年の挨拶といたします。

## 第2弾 物価高騰対策支援事業の実施



物価高騰が家計の大きな経済的負担となっており、国の対策が遅れている中、高浜町独自の物価高騰対策支援事業として、下記の第2弾の物価高騰対策が実施されることとなった。

議会としても、令和7年5月に実施された第1弾（1世帯で1万円の赤ふん坊や通貨の配布）では、子どもな

ど家族の多い世帯において、効果的な支援策でないとい一般質問等で訴えてきたところであり、第2弾の対策を評価する。

令和8年度以降も、電気代の補助など継続的な物価高騰対策の実施を注視していく。

- ①送付対象者：令和7年12月1日時点で、高浜町住民基本台帳に世帯主登録されている方に世帯人員分を送付（令和8年2月以降）
- ②送付内容：「赤ふん坊や通貨」世帯人員1名あたり1万円（1000円券×10枚）
- ③使用期限：配布日から令和8年7月31日（予定）
- ④留意事項：町内取扱加盟店のみ使用可能
- ⑤事業費：9893万3千円



（井上順也）



## 高浜公園ソラノワの設置及び 管理に関する条例

高浜町では、生活環境の向上や子どもの遊びの促進、多世代交流の場となる基幹公園として「高浜公園ソラノワ」を整備・活用するため、その設置および管理に関する条例を制定する。

公園の名称は「高浜公園ソラノワ」、場所は高浜町菌部地内。施設は子どもの遊び場、休憩室・管理室、トイレで構成され、指定管理者による管理が可能とされている。

公園とトイレは常時開放、遊び場と休憩室は午前9時から午後6時まで利用でき、水曜日と年末年始は休館。

特定利用※については1時間1000円(12.5㎡)の使用料を設定する。(一般的な公園使用は無料)

条例は令和8年9月施行予定。

名称「ソラノワ」(応募者の思い)には、「空」「人の輪・和」「木の実(ラ・ノワ)」の意味を込め、自然の中で人々がつながり、豊かさを育む公園への願いが表されている。



ソラノワ完成イメージ

(井ノ元康夫)

※特定利用…物品の販売、催しなど

## 医師公舎の修繕費650万6千円 令和8年4月に医師が着任予定

医師確保を目的とした地域医療推進事業の一環として、医師公舎の設備更新に係る修繕費が補正予算に計上された。

### 【行政側の説明内容】

老朽化した電気設備や給湯設備、空調等を既存住宅全体として更新するもので、新設ではなく修繕業務として位置付けている。

令和8年4月に医師1名が着任予定であることから、工期を短縮し確実に整備を完了させる必要があり、個別発注ではなく一括施工を想定している。

金額については業者見積りを基に予算計上したもので、今後、設計内容を精査した上で、原則入札を基本に契約手続きを進める。

### 【委員会の指摘意見】

修繕業務として一括発注することによる金額の妥当

性や、分離発注によるコスト縮減の余地、見積内容の精査の在り方について慎重な検討を求める意見が出された。

議会としては、医師確保を優先しつつも、今後の契約・執行段階において、透明性と適正な予算執行が図られるよう注視していく。



設備更新予定の医師公舎

(河島浩彦)

## 12月定例会において全会一致で決定した案件

議案番号	議案名	関連ページ
【予算案件】		
議案第60号	令和7年度高浜町一般会計補正予算(第5号)	P2～5
議案第61号	令和7年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	
議案第62号	令和7年度高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)	
議案第63号	令和7年度高浜町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	P6
【条例案件】		
議案第65号	和田地区公園整備基金条例の制定	P6
議案第67号	高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第68号	高浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	
議案第69号	高浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
【契約案件】		
議案第70号	高浜町防災行政無線再整備工事請負契約の一部変更	P6
議案第71号	水産物供給基盤機能保全事業 上瀬漁港(日引)浮消波堤補修工事請負契約の一部変更	
【その他案件】		
議案第72号	高浜町青葉山健康長寿の里の指定管理者の指定	P6
議案第73号	高浜町6次産業施設の指定管理者の指定	
議案第74号	農地等高度利用促進事業計画	P6・15
議案第75号	損害賠償の額の決定	P6

## 12月定例会において賛否が分かれた案件

議案番号	議案名	議決結果	阪本	井上	河島	松岡	釣本	矢野	西野	井上	大塚	上尾	廣瀬	井ノ元	磯部	小幡	関連ページ
【条例案件】																	
議案第64号	高浜町地域福祉総合センターの設置及び管理に関する条例の制定	賛成多数可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4・7
議案第66号	高浜公園ソラノワの設置及び管理に関する条例の制定	賛成多数可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P3・4 P6

### 討 論

#### ■令和7年度高浜町一般会計補正予算(第5号)について【議案第60号】

##### 賛成討論 釣本 音次

物価高対策事業は今まで家族4人でも家族に1万円支給、今回は家族4人なら家族に4万円支給(4倍)される。使用制限撤廃を望む。総合的に判断して賛成。

#### ■高浜町地域福祉総合センターの設置及び管理に

#### 関する条例の制定について【議案第64号】

##### 反対討論 釣本 音次

規模、豪華過ぎる設備に反対して来た経緯があるため反対する。

#### ■高浜公園ソラノワの設置及び管理に関する条例の制定について【議案第66号】

##### 反対討論 釣本 音次

5か月遅れ、完成は令和8年8月31日。新たに税金が1630万円投入。高浜町社会福祉施設事業と同じ請負業者が施工。町民から「またか」と言われ、反対する。





# 医師公舎の電気設備等 取替修繕業務とは

予算決算常任委員会 委員長 井上 順也

議案第60号

令和7年度一般会計補正予算第5号について



注目事業QRコード

【全員賛成で可決】

## 物価高騰対策支援事業9893万3千円 新規事業

**Q** なぜ現金給付ではなく商品券なのか。

**A** 地域内での消費を促進でき、高齢者でも使いやすく地元事業者支援につながる。

**Q** 国の重点支援地方交付金はどう使われるのか。

**A** 約5000万円の交付金のうち、今回の通貨券事業に充当する、一般財源分については、今後の追加対策に活用予定。

## 医師公舎の電気設備等の取替修繕業務 650万円 新規事業

医師公舎の電気設備、エアコン、エコキュートなどの老朽化設備を中心に、建物全体をリフレッシュする修繕業務

**Q** 工事請負でないのか。

**A** 建物の原状回復を目的とした修繕であり、工事請負ではなく修繕業務として整理している。

**Q** 一括発注は妥当なのか。

**A** 医師の着任時期が迫っており、短期間で確実に完成させる必要があり、建物全体を一体的に修繕する必要がある。

## 道の駅管理運営事業1210万円 増額

**Q** 指定管理料を増額する理由は。

**A** 物価高騰、人件費上昇、光熱費増加により、現行の指定管理料では運営が厳しいため。



シーサイド高浜

## 高浜公園整備事業1630万円 増額

**Q** なぜ工期が延びたのか。

**A** 当初計画より約5か月延長となり、令和8年9月オープン予定である。軟弱地盤対応や鉄骨部材の納期遅延などが理由。

今後の工程管理を徹底する。



高浜公園工事状況

## 中高生のフィリピンへの 海外留学事業委託料780万円 令和8年度 債務負担行為※

**Q** 教員が同行しないことに対して不安だが。

**A** 留学中の様子をお知らせする。行った後の報告会を行う。

令和7年度 高浜町海外留学事業 高浜町

高浜町在住・高浜町出身の  
高校生及び18歳まで  
参加者募集!

フィリピン共和国 セブ島 海外留学

2025年 12月14日(日)～12月21日(日) 8日間

募集期間  
2025年  
9月16日(火)～10月14日(火) 午後5時必着

応募方法  
留学先・応募方法・必要書類などの詳細は募集要項等で確認してください。  
【事前説明会を令和7年9月29日(月) 午後7時から高浜公民館で開催いたします。】

GLC

学びの場を海外に  
高浜町の未来を拓く

令和7年度参加者募集チラシ

※債務負担行為：年度をまたいでお金を支払う約束



Q 予算決算常任委員会ってなに？

A 予算議案、決算議案などを細かく審査などを行うところさ。

発行日：令和8年1月23日(金)

# 議案12件について慎重審議

総務産業常任委員会 委員長 井ノ元 康夫

【全員賛成で可決】

## 令和7年度高浜町下水道事業 特別会計補正予算（第2号）について

議案第63号

**Q** 下水道の補正の人数は4名と確認しているが、関連して上水道の人数は。

**A** 同じく4名。

## 和田地区公園 整備基金条例の制定について

議案第65号

**Q** 「公園整備基金」とは。

**A** 補助金（10分の10補助など）を活用して整備した事業については、国・県の指示により他の基金と区分して管理する必要があるため、別基金として設けている。

## 高浜公園ソラノワの設備及び管理に 関する条例の制定について

議案第66号

**Q** 公園施設の閉館は必要なのか。

**A** 屋外施設は常時利用可能で、週1回の休館日は建物内の点検やメンテナンスに充てるためであり、定休日としている。

## 高浜町防災行政無線再整備 工事請負契約の一部変更について

議案第70号

**Q** 防災アプリ「たかはま情報ナビ」について、音声だけでなくテキスト中心での配信に出来ないか。

**A** 内容により対応は異なるが、表題をテキスト表示するなど配慮している。

詳細はチラシやホームページへのリンクを活用するなど、各課と連携しながら見やすさを工夫して運用している。

## 水産物供給基盤機能保全事業 上瀬漁港（日引）浮消波堤 補修工事請負契約の一部変更について

議案第71号

**Q** 契約内容の詳細は。

**A** 一部に腐食は見られるが、鋼材の厚みは十分で、塗装劣化が主なため塗り直し工事を実施した。また、浮標塔は、6か所設置を計画していたが、地元漁業者との協議の結果、航行上不要と判断し、必要最小限の両端2か所にした。

## 高浜町青葉山健康長寿の里の 指定管理者の指定について

議案第72号

**Q** 法人格のない任意団体に約1800万円を長期間支出する点に懸念がある。

また、個別管理ではなく、町全体を見渡す「まちづくり会社」のような法人による一体管理の方が望ましいのではないかと。

**A** 青葉山麓研究所は、登山・薬草・植物保全など地域と連携した実績が豊富で、施設の特性を生かした運営が可能な団体である。公募の結果、地域に根差した同研究所が選定された。

将来、町全体を担う組織が育てば、その形への移行も否定しないが、現時点では地域団体に任せる判断とした。

## 高浜町6次産業施設の 指定管理者の指定について

議案第73号

**Q** 指定管理の応募条件が厳しく、他団体が参入しにくい。UMIKARAは食堂やスーパーを含む施設であるため、条件を緩和して競争原理を働かせた方が、より良い運営につながるのではないかと。

**A** UMIKARAは漁協用地内の施設であり、海業推進や施設運営には漁業者・漁協との連携が不可欠である。また、漁協用地使用には水産業協同組合法上の制約があるため、応募資格は当面現行を維持する。

## 農地等高度利用促進事業計画について

議案第74号

**Q** 1区画が小規模であり、1町（約1ヘクタール）規模に出来ないのか。

**A** 現状では地権者が多く、耕作面積や営農意向もさまざまであり、現在も自作を希望する農家が多い。

当面は国・県の補助要件である最低5反規模を基本としつつ、将来的な大規模化が可能となるよう、道路配置などを工夫しながら計画を進めて行く。

## 損害賠償の額の決定について

議案第75号

**Q** 町道を通行止めにするには法的手続きや許認可が必要ではないかと。

**A** 現在は町道を遮断せず、城山荘の玄関前にバリケードを設置して施設直前で止める方法に改めた。





# 「高浜町地域福祉総合センターいぶき」 管理運営のあり方を質疑

厚生文教常任委員会 委員長 松岡 茂和

【全員賛成で可決】

## 高浜町地域福祉総合センターの設置 及び管理に関する条例の制定について

議案第64号

**Q** 地域福祉総合センターは、役場の業務が機能する体制が大事。団体貸付で、シルバー人材センターは営業の部分もあるが、貸付のすみわけをどのようにされるのか。

**A** 共用エリアと行政福祉入居エリアに分け、シルバー人材センター、老人クラブ、社会福祉協議会事務所、町職員の場所とすみわけ、障害者団体おひさまが入るところは町が直接貸し付ける。団体の電気、水道料等徴収できる規定だが利用料はすべて無料となる。今後は社協が指定管理し、窓口になる。

**Q** 休館日や閉鎖時間は条例にない。日曜日に利用したい団体もあるが規則で定めるのか。

**A** 年末年始以外はオープンするが休館日を設けることができる規定。利用時間は9時～21時とする。利用状況で柔軟にやっていきたいので規則にしている。



完成した地域福祉総合センターいぶき



地域福祉総合センターいぶき2階大広間

## 意見交換会

### 安心して医療を受けられる対策を 地域医療の現状と課題を調査

地域医療の実態を調査し医療行政に反映させる目的。

#### ◆7月14日 JCHO若狭高浜病院

JCHO若狭高浜病院においては経営、利用状況や課題について調査した。

民間病院といえ高浜町唯一の総合病院であり行政として可能な対策を積極的に働きかける必要性を確認した。

#### ◆11月14日 和田診療所

和田診療所では井階所長から地域医療、寄付講座の経過と現状、課題について説明を受けた。

2009年、福井大学医学部寄付講座と地域医療推進室の設置で医師が5名から現在13名になった。

現在、高浜町・JCHO若狭高浜病院・福井大学医学部の三者協定で、高浜地域医療イノベーション

センターを設置し、地域医療教育、人材育成、健康のまちづくりに取り組んでいる。

最重要懸案事項である医師不足対応策について医師が確保できても経営できない厳しい現状にある。

高浜町は寄付講座で多くの学生が参加、医師にかかる経費が他市町にくらべ大変安くついていると説明された。

今後の地域医療イノベーションセンターの動向を注視していくことを確認した。



高浜町地域医療意見交換会



Q 厚生文教常任委員会ってなに？

A 教育、保健、福祉などの議案などを細かく審査などを行うところよ。

発行日…令和8年1月23日(金)

# 議会運営委員会 委員長 井上 順也



## 議論・検討要点まとめ

### ①今後の会期運営

令和8年度以降、施政方針演説と一般質問の順序見直しを検討するとともに、6月定例会以降の会期スケジュールについて協議した。

交付団体にも配慮した支援制度を求める意見書を提出した。

支援制度を求める意見書  
QRコード



### ②監査委員報告の改善

監査報告の分かりやすさ向上を図るため、課題や改善点を明確にした報告となるよう、報告方法の見直しを検討した。

### ④議会運営の見直し

報告事項は要点を絞り、資料は電子化するなど、議会運営の効率化を行った。

### ③不交付団体への意見書

情報システム標準化に伴う負担増を踏まえ、不

### ⑤議員研修の実施

議員の資質向上を目的として、ハラスメント防止およびモラル向上に関する研修を実施した。

## 議運開催状況

### 議会運営委員会年間予定表

12月末時点

日程		5月		6月		7月				8月				9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月						
		上旬	中旬	22日	上旬	中旬	30日	上旬	22日	28日	上旬	21日	28日	上旬	19日	下旬	上旬	21日	下旬	上旬	中旬	27日	6日	16日	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
検討課題																																
定例会前議運(1ヶ月前・5日前)		予定		●								●	●							●	●										●	●
		実施		●								●		●			●			●		●										
1	① 陳情書回答案協議	予定		●																												
	実施			●		●																										
	② 改善策案検討	予定		●																												
	実施			●		●		●																								
	③ 改善策具体案協議	予定				●						●																				
	実施					●		●		●		●		●																		
	④ 陳情・請願処理に対する内部規定案検討・協議	予定				●			●			●																				
	実施					●		●		●		●		●		●																
	⑤ 条例改正案検討・協議	予定										●																				
	実施											●		●																		
	⑥ プロセス改善案説明資料作成・公表	予定											●																			
	実施												●		●		●		●													
2 会期日程検討・改定		予定				●						●										◎		◎								
3 議員定数削減検討・改定		予定				●						●																				
4 通年議会検討・協議		予定						●							●							●										
5 情報公開検討・協議 (SNS等含む)		予定										●											●									
6 守秘義務規定・罰則規定検討協議		予定																				●				●					●	
7 議員活動広報 (公約実施状況を議会だより)		予定																				●					●				●	
8 議会報告会・意見交換会		予定				●			●													◎				◎						
9 議員研修		予定				●																◎										
		実施																														

※予定は変更になることもあります

● 開催日予定

● 開催日

— 資料作成・修正

◎ 追加日程

検討完了

定例会





# ここが聞きたい!一般質問

一般質問の記事は質問した議員が各自で作成しており、  
内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

阪本 新也	①高浜町水道ビジョンに基づく上水道施設の更新と耐震化について
上尾 徳郎	①「物価高騰対策」支援事業について ②「人口減少対策」若者の人材育成支援策について
松岡 茂和	①西嶋町長の行財政運営方針について ②高浜町の原子力行政課題について ③高浜町の文化、歴史、芸術に対する取り組みについて
井上 順也	①物価高騰経済対策について ②介護事業の支援について ③これからの学校教育について
小幡 憲仁	①道の駅「シーサイド高浜」今後の改修計画と運営について ②上水道送水管の未接続問題について ③地域医療体制の支援策の今後の方針について ④大分市佐賀関の大規模火災を受けて高浜町の防火対策の強化を求める

河島 浩彦	①白浜アウトドアエリア整備の目的および方向性について ②白浜アウトドアエリア整備における現状課題の整理について ③地域住民・関係者との合意形成の進め方について ④白浜アウトドアエリア整備の今後の進め方およびスケジュールについて
釣本 音次	①高浜町のゴミ置き場について伺う ②公益通報者保護法について伺う ③不正アクセス禁止法について伺う

## 一般質問って？

議員が高浜町の行政一般事務や将来に対する方針などについて、執行機関に質問することなんだ。



一般質問要旨



さか もと しん や  
阪本 新也

## 上水道施設の更新と耐震化状況は

回答：西嶋町長

震災時を含めたインフラ整備の強化、耐震化の進化を図っていく

**問** 平成26年に策定された「高浜町水道ビジョン」に基づく各事業の進捗状況は。

**上水** 水道ビジョンに基づき、経営基盤強化として料金見直しや施設更新、管路耐震化を計画的に進めている。

**問** 上水道施設の更新・耐震化に関する年次計画及び今後の実施スケジュールは。

**上水** 災害対応強化として耐震化や給水拠点整備を進め、主要施設の更新も推進。地下水確保や水質保全、鉛管取替を計画的に実施し、広報充実や民間委託によりサービス向上を図っている。

**問** 水道ビジョンで示された「送水管の二重化」について、平成2年から現在に至るまでの経緯と、二重化が未完である理由は。

**上水** 送水管二重化は南山手線道路事業と併せて平

成3年度に着手し、災害時の安定送水を目的に進めてきたが、平成7～23年度は他事業対応のため休止した。

平成24年度に再開し、令和7年度時点で上水道センター側20m、配水池側60mが未接続である。センター更新計画の変更により供用開始が令和14年度に延伸されたため、送水管は先行接続へ方針転換し、令和8年度に20m接続、令和9年度に60m接続、令和10年度通水を予定している。

**問** 今後、災害時の給水体制強化を含め町としてどのような方針で上水道施設の再構築を進めていくのか。

**上水** 老朽化した上水道施設の更新や耐震化、漏水対策、水源・水質確保を進めつ、DX化やBCP整備も推進し、強靱で持続可能な上水道体制の再構築を図っていく。



耐震化された送水管・配水管（配水池まで未接続）

発行日：令和8年1月23日（金）



うの とくろう  
上尾 徳郎

## 生活に即応した継続的な 物価高騰対策支援事業を

回答：西嶋町長

いろんな視点で全体のバランスを  
考えながら検討を重ねており、8  
年度に向けて施策を打っていきた  
い

**問** 本定例会提案の物価高騰対策支援事業の内容  
と目的は。

**総政** 本年5月の支援事業の第2弾として、地域通貨  
「赤ふん坊や通貨」1万円を世帯人員1名あたり1万円  
を各世帯の経済的負担の軽減と町内消費の促進によ  
る地域経済の活性化を目的に、来年2月初旬頃に順次  
郵送配布する計画。

**問** 国の重点支援地方交付金の活用は。

**町長** 重点支援地方交付金については、高浜町は不  
交付団体であり交付金額は5千万円ぐらいと認識して  
おり「赤ふん坊や通貨」配布事業に活用しながら、一  
般財源を基にして物価高騰対策に取り組む。

**問** 国や福井県の物価高対策事業の計画は。

**総政** 国の施策として、重点支援地方交付金の拡充、  
電気・ガス料金の補助、ガソリン税の暫定税率の廃止、

子育て世帯支援の拡充などが閣議決定されている。  
福井県では国の施策を確認しながら、県産米の消費拡  
大促進や医療機関や福祉施設、学校等への食材支援  
などが検討されている。

**問** 高浜町独自の事業所などへの支援事業は。

**総政** 利子補給の補助率の拡充など事業所への支援  
を視野に入れて、8年度に向けて検討して行く。



## ◆地元定着に向けた若者の人材育成について

**問** 人口減少の中で若者を地元に残すには、子ど  
もたちの将来の夢や希望に高浜町が関わる関係づくり  
や支援と環境。そして、働き場所の提供と若者の人材  
育成への支援が必要と思うが町長の所見は。

**町長** 郷土愛を育んだ若者が地域に帰り、地域を盛り  
上げてくれる気持ちを育むことは非常に大事である。  
高浜町は、働く職場はたくさんあり、協力を頂いて「見  
える化」を図り、安心して住みたい町づくりを若者を  
キーワードにしながら進めて行きたい。



まつ おか しげ かず  
松岡 茂和

## 西嶋町長の 行財政運営方針を問う

回答：西嶋町長

安全安心策として福祉、教育、  
防災インフラを基本に魅力づく  
りを進める

**問** 高浜町は、豊かな原子力財源で立派な公共施  
設や子育て支援など進んだ施策もあるが、医療、高齢  
者、老朽化上水道、防災対策等課題が山積している。

豊かな財源を貯蓄する今こそ、町民の生命を守り将  
来を見据えた生活に直結する町政課題の解決に使う  
こと。

そして、公共施設維持管理計画のとおり、できるだ  
け建築物を有効活用することが行政の使命と考える  
が、行財政の方針は変えないのか。

**町長** 本当に、財政が豊かという言葉では一つにまと  
められない。福祉・子育て・教育・医療・介護で安心  
策があり、地震・火災・自然災害等・防災・上下水道  
の安全策を基本に、魅力づくりに努める。施設を永く  
大切に使う公共施設維持管理計画と老朽化施設の管  
理の整合性を後期実施計画に反映させたい。

## ◆高浜町の原子力行政の課題について

**問** 全国で稼働する14基のうち4基が高浜発電所  
だが、立地自治体のトップリーダーの決意は。

**町長** 安全性は町民の皆さんの理解が第一。3・11  
以降、4基すべてが動いているという安全性の視点を  
野瀬町長が担ってこられたので、リーダーとして担っ  
ていかなければならない。

共創会議では、エネルギー立地が魅力ある住みよい  
町になる。町がよくなることが明確にならなければなら  
ないと思う。バックエンド問題は、検討委員会副委  
員長として積極的に対応にあたる。

## ◆高浜町の文化、歴史、芸術の取り組みについて

**問** 高浜町は貴重な文化歴史源が活かされていな  
いが。

**町長** 七年祭り、碎導  
山、釈宗演とか地域に  
とって大事なことだ。町  
の魅力の醸成。観光に  
もつながる。積極的に  
取り組む。







いのう え じゅん や  
井上 順也

## 来年度以降の町独自の 物価高騰対策は

回答：西嶋町長

電気代補助を含めた少し長いスパンでの方向で対応したい

### ◆物価高騰経済対策について

**問** 物価高騰が続いている中で、来年度以降の国の臨時交付金活用としての町独自の方針は。

**総政** 議員提案の電気代の補助や、水道料金の基本料の引き下げなどは、独自の施策として町民の生活の安定に資する町民の生活コストを下げる有効な施策であると考えており、財源確保や、マンパワーの観点も含めて、総合的に検討を行う。

### ◆介護事業の支援について

**問** 町内、介護事業者の経営持続可能状況、就労者の確保状況は。

**保健** 国の介護報酬の改定時期を待たず、人材の流出を防ぐための緊急的対応として、賃上げや職場環境を改善の支援を行うほか、介護サービスを円滑に継続

するための支援、ICTの導入支援などが盛り込まれている。各事業所で事業経営について検討される。

**問** 町内で介護を受ける方に適切な介護の支援が行き届いているか。

**保健** 町内事業所に確認し、保険者として必要なサービスは確保されている。

**問** 町としての介護事業継続の支援策は。

**保健** 県の物価高騰対策に合わせ、町で上乗せ補助を実施。介護人材不足への対応として、介護職員初任者研修、福祉人材確保支援奨励金制度を創設し、3年間で最大、70万円の奨励金を交付。介護人材の確保と定着に向けた支援を実施。

**町長** 普段から支援が必要な施設の、状況を把握しながら先々対応して行く。



### ◆これからの学校教育について

**問** 主体性、学ぶ側からの教育の推進の考えは。

**教育長** 子どもの育ちに寄り添い伴走し、子どもが中心となる教育を展開して行く。



おば た のり ひと  
小幡 憲仁

## 道の駅「シーサイド高浜」の 改修に伴う地元の参画を問う

回答：産業振興課長

運営事業者に地元連携・地域産品活用・地元雇用への貢献を強く求める

**問** 「道の駅」は地場産業や観光など町づくりと直結した施設である。地元の生産者や事業者の参画が何よりも大切。地元関係団体・行政が一体となる新たな第三セクター型「町づくり会社」による運営体制構築が必要では。

**産振** 道の駅改修は総事業費約15億円で令和9年度竣工を目指す。運営事業者は公設民営方式で公募する。新たな第三セクター設立は時間的制約から当面見送り、民間事業者に地元連携・地域産品活用・地元雇用への貢献を強く求める。

### ◆上水道耐震送水管の未接続問題

**問** 浄水施設から配水池までの耐震の飲料水送水管布設工事を平成3年度に工事開始しながら現在も運用開始されていない。この問題を問う。

**上水** 浄水施設更新時期を待っていたが、令和8・9年度に既設管へ接続工事を行い、令和10年度に通水する。

### ◆佐賀関の大規模火災の教訓

**問** 海に面した密集集落と強風により被害が拡大した点は高浜町にとって他人事ではない。当面の防火対応を提案するので対応を問う。

**防災** 議員提案の防火器具の補助や密集集落の空き家対応の強化など検討・実施していく。



道の駅改修パース図（想像図）



かわしま ひろし  
河島 浩彦

## 白浜アウトドアエリア整備の 進め方とスケジュールは

回答：西嶋町長

具体的な時期は未定だが、町の方針を示しつつ、段階的に検討を進める

**問** 白浜アウトドアエリア整備の目的と町の考えは。

**町長** 本事業は、高浜町全体の海岸線の魅力を高める「シーサイドライン構想」の一部である。

和田地区から白浜、城山、若宮方面までを一体的に捉え、地域ごとの特色を生かしながら、自然豊かな海岸線を町の大きな魅力として発信していきたい。

観光客だけでなく、町民も日常的に利用できる空間づくりを目指している。

**問** 松原の景観や防災機能はどう守るのか。

**産振** 白浜の松原は防風・防災機能を持つ重要な自然資源であり、むやみな伐採や開発は行わない。

松くい虫被害への対応や植樹を続け、景観と生活機能の両立を図る。

**問** 現時点で町が認識している課題は。

**産振** 砂地や起伏のある地形、松原内道路の在り方、

駐車場や周辺道路、将来のシーサイドライン計画との整合など多くの課題がある。

現在は構想段階であり、詳細な調査や事業化は今後の検討事項としている。

**問** 今後、地域住民との合意形成はどのように進めるのか。

**町長** これまで十分でなかった点を踏まえ、まずは園部区を中心に意見交換を再開する。

関係団体や事業者、利用者目線の意見も含め段階的に意見を聴取し、集約した内容は整理・公表しながら計画に反映していく考えである。

整備の目的と方向性を明確にした上で、町民との対話を重ねながら、納得感のある計画づくりを求めたい。



白浜アウトドアエリアの構想地



つりもと おとし  
釣本 音次

## 町長もパソコンやスマホを不正 アクセスされ監視されたらどう思うか

回答：西嶋町長

不正アクセスは困るし犯罪である

**問** 不正アクセス禁止法は刑法なので違反すれば逮捕される。重刑は、懲役3年以下か100万円以下の罰金。軽量刑は、懲役1年以下か50万円以下の罰金である。不正アクセスで得た情報を拡散する者に協力すれば犯罪者となりうる。その者に対して戦って戦っていく。不正アクセス禁止法は、とにかく注意を要する法律で認識の共有が必要。あらためて不正アクセス禁止法とは。

**総務** 不正アクセス禁止法は、サイバー犯罪を防止し情報セキュリティの確保を目的に制定され、他人のID、パスワードの不正取得、利用、システムのセキュリティ欠陥箇所からの不正アクセスを厳罰する法律である。

## ◆生活の基本的インフラであるゴミ置場の改善策を問う

**問** 日々のゴミ処分は、生活の基本インフラであり、

快適な生活には大切で、景観や衛生管理上からも大変重要であり、早急に取り組むべきではないか。ゴミ収納ハウス設置の資金調達には①町の補助金、②コミュニティ助成金(宝くじ助成金)、③町長のマニフェスト、④関電が信託銀行に供託している基金などがある。

**町長** ③は、話を聞き対応する。④は、町のプロジェクト(病院など)に使う。

**住民** ゴミ集積所の設置や管理は、地域の実情をよく知る区民がルールを決めて運営する。用地確保対策として空地の借上げや、町有地を活用し居住環境向上には区長との相談に応じる。

①は、3ヶ所のネットゴミ集積所を1ヶ所に集約すれば上限100万円補助、2ヶ所を1ヶ所にすれば上限75万円補助などがある。

## ◆公益通報者保護法の条例化で不正を防止すべき

**問** 高浜町では同上の要綱(運用ルール)はあるが条例にして法的拘束力で不正を防止すべきではないか?又、現要綱では審議会や策定委員会の職員以外の委員は保護されていないが?

**総務** 不備な所があれば検討する。

**町長** 近隣自治体も要綱で対応している。



# 政治分野におけるハラスメントの防止について

12月8日、予算決算常任委員会終了後、ハラスメント防止研修を行った。

「政治分野におけるハラスメントの防止について」と題し、動画配信による研修で、議員活動や選挙活動中に、有権者や支援者、議員等からのハラスメントの事例を基に学んだ。ハラスメントは、加害者の意図ではなく、被害者がどう受け取るかで判断される。政治分野にかかわらず、いつ何時、加害者、被害者にもなりうることを肝に銘じ、1人ひとりの言動、行動に注意深く、慎重に事にあたり、責任を持つことが大事である。今後も定期的な研修等の必要性を感じた。



ハラスメント防止研修会の様子

## ハラスメントとは

相手の人格や尊厳を侵す人権問題で、被害者が心身に支障を来し、最悪の場合には自死を選ぶ場合もある。



加害者は、刑事上、民事上の責任を問われる場合もある。



組織は、ハラスメントを防げない組織として信用が失墜し、評判をおとしめるケースもある。



ハラスメントには、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、マタニティーハラスメント等があり、その他に固定的な性別役割分担意識はハラスメント行為につながり得る。

資料：内閣府男女共同参画局

(大塚ひとみ)

## 議会の動き



### 10月

- 6日(月) 若狭消防組合議会 定例会
- 16日(木) 町村監査委員表彰式・全国研修会
- 17日(金) 人口減少課題対策特別委員会
- 18日(土) 高浜消防団 秋季消防訓練
- 21日(火) 福井県自治会館組合議会 定例会  
福井県後期高齢者医療広域連合議会 定例会  
議会運営委員会
- 22日(水) 嶺南市町議長会 県要望活動(県議会議長)
- 23日(木) 例月出納検査
- 24日(金) 市町議会議員合同研修会
- 25日(土) 町老連スポーツ大会
- 26日(日) 青郷地区敬老会
- 27日(月) 福井県市町総合事務組合議会 定例組合議会  
総務産業常任委員会
- 28日(火) 県原協※1
- 29日(水) 嶺南広域行政組合議会 行政視察  
若狭広域行政事務組合 定例監査
- 30日(木) 若狭地方町村議会議長会 視察研修

### 11月

- 4日(火) 県原協※2
- 7日(金) 嶺南市町議長会 県要望活動(県知事)
- 9日(日) 和田地区敬老会
- 10日(月) 部落解放研究全国集会  
全原協※3
- 11日(火) 県選出国会議員要望  
県原協 要望活動
- 12日(水) 全国議長大会 豪雪議長大会  
人口減少課題対策特別委員会

- 13日(金) 福井県町村議会議長会 知事要望
- 16日(日) 高浜町 町政施行70周年記念式典
- 17日(月) 厚生文教常任委員会 和田診療所意見交換会  
嶺南広域行政組合議会 代表者会議
- 18日(火) 人口減少課題対策特別委員会
- 19日(水) 若狭消防組合議会議員 管外行政視察
- 20日(木) 関原協 要請活動
- 21日(金) 議案事前説明会
- 22日(土) 青少年健全育成福井県民大会  
高浜消防団 年末活動報告会
- 26日(水) 主要地方道坂本高浜線整備促進期成同盟会 総会  
若狭広域行政事務組合 現金出納検査
- 27日(木) 議会運営委員会
- 28日(金) 例月出納検査

### 12月

- 1日(月) JCHO若狭高浜病院地域協議会
- 2日~16日 12月定例会
- 6日(土) たかはまシルバーコンベンション
- 7日(日) ヒューマンライツたかはま2025
- 8日(月) 議員研修(ハラスメント)
- 16日(火) 若狭広域行政事務組合議会 代表者会議
- 17日(水) 和田観光協会 総会
- 18日(木) 人口減少対策課題特別委員会 提言書提出
- 21日(日) 年末年始消防特別警戒出発式
- 22日(月) 若狭消防組合議会 臨時会  
若狭広域行政事務組合議会 定例会
- 24日(水) 嶺南広域行政組合議会 全員協議会・定例会
- 25日(木) 町立保育所クリスマス会(議長サンタ)
- 26日(金) 議場清掃

※1【県原協】 福井県原子力発電所所在地議会特別委員会連絡協議会  
 ※2【関原協】 関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会  
 ※3【全原協】 全国原子力発電所所在地市町村協議会

# 関西電力「高浜発電所の状況等」 原子力規制庁「新基準規制に係る適合安全審査及び 六ヶ所再処理施設の審査進捗状況」

原子力対策特別委員会報告 委員長 上尾徳郎



## ◆高浜発電所の現況報告

説明者 高浜発電所所長

### ■現況と今後の予定

- ・ 1号機 余剰抽出クーラ冷却水出口安全弁から格納容器サンプへの1次系冷却水の流入の原因と対策
- ・ 発電所における核物質防護事案
- ・ 3・4号機の高燃焼度燃料の使用計画に係る事前了解願の提出

## ◆新基準規制に係る適合安全審査・ 六ヶ所再処理施設の審査進捗状況

説明者 地域原子力規制統括官  
燃料審査部(オンライン出席)

### ■高浜発電所使用済燃料乾式貯蔵施設の設置に係る発

## 電用原子炉設置変更許可申請書に対する審査結果

- ・ 申請の概要・損傷の防止  
(地盤の変位・変形等・地震・外部からの衝撃)
- ・ 兼用キャスクの安全機能(臨界防止・遮蔽・徐熱・閉じ込め)など要求事項に適合していることを確認。

## ■日本原燃再処理施設の設計及び工事の計画の認可 申請書に対する審査進捗

- ・ 再処理施設における許認可の経緯
- ・ 審査の状況について、現在、第2回目の設計及び工事計画の確認申請について厳正審査を進めている。審査会合を通して説明の形が整理され、説明項目に係る全体計画が事業者から提示された。課題は、溢水による重要機器の損傷防止の評価、可搬型重大事故等対処設備の保管に係る設計及び代表設備の耐震設計結果の確認など

# 若者流出抑制と定住促進に向けた政策を提言する

人口減少課題対策特別委員会報告 委員長 松岡茂和

高浜町議会では、人口減少課題対策特別委員会を設置した。

令和8年度からの「高浜町総合計画後期実施計画」「高浜町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」に反映させるため、若者、女性の県外流出の課題について、町内在住の若者への聞き取り調査や資料の収集により、若者の県外流出の理由などの実態を把握するよう努めた。

その結果、3つの重点戦略に必要な対策をまとめ、西嶋町政の重要な課題として取り組まれるよう提言書を提出した。

### 【重点戦略】

1. 希望する就職先がない
2. 進学就職で転出したら戻らない
3. 公共交通機関がなく不便



提言書  
QRコード



## 意見交換会

令和7年12月3日(水) LIVING TAKAHAMA  
(関西電力㈱高浜発電所及び高浜町役場の  
若手社員・職員で構成されたプロジェクトチーム)

主な  
意見

- ・ フルリモート設備を整備した場所、補助金等で若者を呼び込める可能性はある。静かな場所を求める若者は実際にいる。
- ・ 大学で高浜を離れた途端、高浜町の情報が入ってこなくなった。
- ・ 土地や家屋への補助金があればライフプランが変わってくるので、移住を選択肢に入れる可能性はある。
- ・ ベッドタウンとして高浜を選ぶことはない。利便性がない。





# 東三松区域 農地整備事業について



東三松区域では、将来にわたり農地を守り、持続可能な農業の実現を図るため、圃場の大区画化や安定した農業用水の確保を行う農地整備事業を進めている。

本地区では、農業者の高齢化や担い手不足が進行しており、農地の維持が課題となっている。

本事業では、老朽化した農業用施設の更新や排水路の整備を行い、農作業の効率化および労力の軽減を図る。

あわせて、担い手農家への農地集積を進め、農作物の品質向上と安定した収量の確保につなげ

るものである。

今後も、地域農業の維持と農地保全に向け、事業の円滑な推進に取り組んでいく。



農地整備事業ってなに？

農業をやすくするために、農地や用水路・農道などを整える事業で、田畑を広く整えたり、水や道を整備したりして、農業の効率や生産性を高めることを目的としています。



## 国道27号青葉改良進捗状況！



令和6年元日に発生した能登半島地震では、現在もお道路や上下水道などのインフラ復旧作業が続いている。

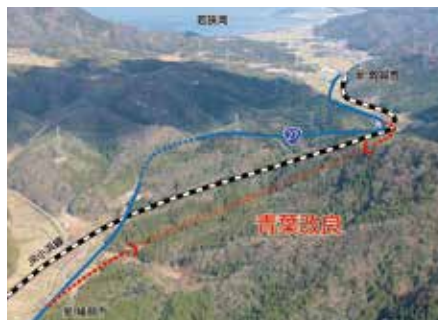
加えて、令和7年12月にも大規模地震が発生しており、当町においても同様の地震が発生する可能性は否定できない。

このような状況の中、災害時における被害を最小限に抑えるためには、平時からのインフラ整備が極めて重要である。

本町が長年要望してきた国道27号青葉改良事業（青葉トンネル新設工事）は、令和3年度に事業化されて以降、計画的に進められている。令和7年12月には境界確認等が実施され、現在は調査・設計段階に入っている。今後は、設計完了後に用地測量および用地買収を行い、その後着工する予定である。

また、本事業の進捗状況については、定期的に地域住民へ報告が行われている。あわせて、青葉改良事業に伴う集落内道路との接合部整備や踏切改良についても、町独自の事業として計画が進められる予定である。

議会としては、今後も事業の早期完成を強く要望するとともに、引き続き進捗状況の確認を行っていく。



(阪本新也)



# 令和8年 3月定例会

※赤字はTV中継あり  
※会議日程は変更になる場合があります

日-SUN-	月-MON-	火-TUE-	水-WED-	木-THU-	金-FRI-	土-SAT-
3/1	2	3 10:00 本会議 (初日)	4	5 9:00 本会議 一般質問	6 9:00 本会議 一般質問	7
8	9 9:00 予算決算	10 9:00 予算決算	11 13:30 予算決算	12 9:00 総務産業	13 9:00 厚生文教	14
15	16 9:00 原子力	17 9:00 人口減少 13:30 広報	18	19 13:30 本会議 (最終日)	20	21

## ブツブツ…つぶやきコーナー



「ぼやき」「ほめ言葉」「ちょっと言わせて!」なんでもどうぞ。

どの声も、議会としてしっかり受け止めています。

QRコードからどうぞ。(匿名での投稿)

皆さまの率直な“つぶやき”を公開しています



コメント公開



ご意見・ご感想は  
こちらからお願いします

## 議会報告会&意見交換会を開催予定

### 高浜町議会基本条例 第5条4項

議会は、町民の意見を議会運営に反映させるため、定期的に議会報告会又は意見交換会を開催するとともに、有効な手段を講じて町民の意見を聴取するよう努めるものとする。

日程は、只今調整中です。  
決定次第、ホームページ  
等でご案内いたします。  
しばらくお待ちください。



(井上聡美)



井上 聡美

えっ!と思うほど世代の違いが出たひとコマでした。皆さんも、こうした日常のちよつとした違いを感じることがあると思います。言葉も習慣も、気づけば次の世代に合わせて少しずつ形を変えていくんですね。こうした小さな変化に気づき、これからも地域の未来と一緒に作っていかれたらと思います。

2チームに分けるため、子どもたちとじゃんけんをしました。私はいつものように「グッパで(はい)」と掛け声をかけたのですが、子どもたちは「出すタイミングがわからへん」と慌て、グーとパーで分かれましょ」と声をかけ直しました。

何気ない日常の出来事  
(チーム分け)

編集後記